



### 1. 幅広いアプローチ活動第一回運営委員会開催される

6月1日に発効した幅広いアプローチ活動共同実施協定に基づき、同月21日に第1回のBA運営委員会が東京で開催された。この運営委員会では、運営委員会自身と3つの事業委員会を設立するとともに、3つの事業の実施の調整を行う事業長（国際核融合材料照射施設の工学実証・工学設計活動（IFMIF/EVEDA）：パスカル・ギャラン仏原子力庁カダラッシュ研究所副所長，国際核融合エネルギー研究センター（IFERC）：荒木政則原子力機構研究主席，サテライトトカマク（JT-60SA）：石田真一原子力機構研究主席）を指名した。また、各事業の暫定作業計画や事業チームの体制が承認され、BA活動が正式に開始された。また、第2回の運営委員会を、11月にバルセロナで開くことも決定された。

### 2. 六ヶ所BAサイトの準備状況

平成19年4月1日付けで原子力機構の新たな研究開発拠点として設置された「青森研究開発センター」と、六ヶ所でのBA活動の中心となる「国際核融合エネルギー研究センター」の仮事務所が7月3日に開かれ、開所式が行われた。IFMIF-EVEDA事業長のパスカル・ギャラン氏と事業チーム、実施機関としての原子力機構の関連部署の人員が配置され、幅広いアプローチ活動が本格的に開始された。

5月初旬から始まった六ヶ所村のBAサイトの予定地の造成工事（抜根，整地等）は，順調に進んでおり，サイトのほぼ全域で整地工事が行われている。また，六ヶ所BAサイトにおいて建設が予定されている建家についての実施設計が開始された。

（日本原子力研究開発機構核融合研究開発部門）



幅広いアプローチ活動第一回運営委員会（2007年6月21日，東京）